

答 (建設・下水道課長)
 里道・水路は、平成17年3月末に財務省から譲与された。以降、官民境界等については、町が立会し財産管理を行っている。維持管理は、生活環境整備事業補助金により、各自治会にお願いしている。

問
 中山道愛知川宿駐車を整備されたが、町民が使いにくい実態がある。どのように考えているか。
 (辰口 保護員)

答 (商工観光課長)
 皆さんの声をしっかり聞いて、協議していきたい。

問
 河川愛護補助金を支出されているが、高齢化等により作業が困難と聞か自自治会もある。その状況について尋ねる。(瀧 すみ江議員)

答 (建設・下水道課長)
 一級河川の管理は滋賀県であるので、県に対し要望を行っている状況である。



中山道愛知川宿駐車

現在も週1・2回の献立会議を行い、特に問題はない。
 ②ゼリーについては、アレルギーにも大丈夫なものを活用している。
 ③醤油については、相談を行ったが、対応できていない。

問
 幼稚園でも臨時職員が多い。正規職員を雇うことに対して、制度的なものがあるか。
 (辰口 保護員)

答 (副町長)
 職員採用は、園児の推移をみて判断している。なお、国等による制度の縛りはない。

問
 保育園や幼稚園の正規職員の充実により、安心安全が得られ、就労関係も充実させることができる。町長の考えは。(辰口 保護員)

答 (町長)
 子どもの環境を整えていくことは、重要と考えている。

問
 給食費の徴収等、学校で多額のお金を扱うことに対する状況は。
 (村田 定議員)

答 (教育管理部長)
 給食費取扱マニュアルを作成し、改善を行なっている。学校でお金を取り扱わないよう、システム業者と調整を行なっている。

全体総括

問
 当町は、彦根市を中心とした定住自立圏構想に参加している。また、業務によっては東近江行政組合や愛知郡広域行政組合など、複雑な広域行政組織に属している。当町の方向性について尋ねる。(外川 善正議員)

答 (総合政策部長)
 それぞれの市町が、住民の効率化と利便性のために広域で事業を行っている。当町だけで困難なものは、有効性を見定めて行動している。

問
 秦荘庁舎東側駐車場の長年借地として利用しているが、購入の考えはないか。
 (吉岡 孝三子議員)

答 (総務部長)
 当該用地は、平成27年4月

から平成37年3月までの契約更新を行っている。町にとって、必要な土地であるとの認識はしている。

問
 今後の財政を見据えて、歳出での負担金・補助金等の見直しの考えを問う。
 (西澤 桂一議員)

答 (総務部長)
 限られた財源の中で、住民サービスを低下することなく進めていくということが、行政の使命である。平成30年度からはあるが、負担金・補助金の見直し作業を行なっている。

問
 自主財源確保の観点と、住民の公平性の観点から、税の不能欠損に対する考え方を尋ねる。
 (村田 定議員)

答 (副町長)
 不能欠損処理は、地方税法に基づきやむを得ず行なっている行為である。引き続き徴収に努力していく。

教育部門

問
 幼稚園3年保育の状況を探る。
 (徳田 文治議員)

答 (秦荘幼稚園長)
 3年保育の実施により、学習基盤の充実や、ゆとりある園生活、生活習慣の充実、安心した集団生活が送れていると思う。



幼稚園児の様子

問
 学校給食におけるアレルギー対応食について平成29年度より業者委託にされたが、その状況は。
 ②セレクト給食時の、アレルギー対応はどうしているのか。
 ③小麦の入っていない醤油の検討状況は。
 (瀧 すみ江議員)

答 (給食センター所長)
 ①開始前1ヵ月間、管理栄養士により引継ぎを行った。

平成29年度各特別会計決算認定

会計区分	収入額	支出額	差引残額
①住宅新築資金貸付事業	66万円	66万円	0
②土地取得造成事業	192万円	192万円	0
③国民健康保険事業	21億 2,686万円	19億 9,133万円	1億 3,553万円
④後期高齢者医療事業	1億 7,694万円	1億 7,621万円	73万円
⑤介護保険事業	14億 3,760万円	13億 9,504万円	4,256万円
⑥下水道事業	13億 0,441万円	12億 9,451万円	990万円

平成29年度各特別会計決算は、9月10日に上程され所管の各常任委員会に付託された。
 9月11日から9月13日に開催された各常任委員会よりそれぞれ審査が行われ、21日の本会議で委員会の審査結果報告を受け採決を行った。主な質疑は次ページのとおり。
 (採決結果は、P 10・11に記載しています。)